

平成26年5月30日

## 25年度「学校評価アンケート」報告

開明中学校・高等学校  
学校評価検討委員会

### (1)25年度実施の「学校評価アンケート」について

平成20年度から生徒・保護者にも協力をお願いし取り組んできました「学校評価アンケート」も今年度で6回目の実施となります。その主な目的は本校の教育活動を点検し、さらなる改善に役立てるというものです。本校の教育力を計る一つのバロメーターとして重要な取り組みであると考えております。

さて、平成25年度の「中学、高校別の生徒・保護者アンケート」の結果及び「教職員による自己評価アンケート」の結果のまとめができましたので報告いたします。

なお、集計結果につきましては別表をご覧ください。

### (2)「アンケート」結果の見方について

評価項目については、次の4段階〔A：よくはてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない〕で回答をお願いしています。評価レベルとしてはABを肯定評価、CDを否定評価としてとらえ、課題を整理してみました。

### \*「生徒・保護者アンケート」について

(1) 6年間の全項目の「肯定評価」の平均の推移は次の通りです。

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	項目数
①中学生徒	74.0%	77.6%	76.8%	79.6%	80.6%	76.5%	33項目
②高校生徒	67.7%	70.5%	73.4%	74.3%	72.9%	73.3%	35項目
③中学保護者	82.8%	83.1%	81.5%	82.0%	81.2%	83.1%	28項目
④高校保護者	77.5%	80.9%	81.2%	80.1%	72.8%	80.2%	27項目
全体平均	75.5%	78.0%	78.2%	79.0%	76.9%	78.3%	

(2) 高い評価を得た項目については、その評価を落とすことなく更に充実した取り組みを追求します。

#### \*中学・高校の生徒に85%以上の高い評価を得た項目

- ①この学校は、内容のわかりやすい授業が多い。  
(中学92.1%)
- ②この学校の先生は、教科の質問にきちんと対応してくれる。  
(中学94.4% 高校93.9%)
- ③この学校では、宿題や課題がよく出される。  
(中学97.8% 高校92.4%)

- ④この学校の先生は、私語や居眠りなどはよく注意する。  
(中学 91.0%)
- ⑤この学校では、進路についての情報をよく知らせてくれる。  
(高校 87.8%)
- ⑥この学校では、学習や進路についての面談や指導が適切に行われている。  
(高校 85.7%)
- ⑦この学校では、他の人に知られたいくないプライバシー(個人情報)は守ってくれる。  
(中学 87.5%)
- ⑧この学校では、必要なとき保健室やカウンセリングルームで悩みの相談ができる。  
(中学 87.5%)
- ⑨この学校は、健康管理について適切な指導と情報の提供があり、生徒が健全な学校生活を送れるように努めている。  
(中学 85.6%)
- ⑩この学校の行事の数は適切である。  
(中学 91.6%)
- ⑪行事は、生徒みんなが楽しく参加できるように行われている。  
(中学 90.1%)
- ⑫自分のクラスは行事に積極的に取り組んでいる。  
(高校 88.4%)
- ⑬私は、授業中、私語や居眠りをせず、一生懸命理解しようとしている。  
(高校 86.5%)
- ⑭私は、宿題や課題があればきちんと取り組んでいる。  
(中学 86.2% 高校 87.8%)
- ⑮私は、この学校に悩みなど相談できる友人がいる。  
(高校 85.5%)

\* 中学・高校の保護者に90%以上の高い肯定評価を得た項目

- ①この学校は、保護者に教育方針を分かりやすく伝えている。  
(中学 93.9%)
- ②この学校は活気があり、生徒が生き生きとしている。  
(中学 90.1%)
- ③保護者として、子供をこの学校に通わせて満足している。  
(中学 91.8%)
- ④この学校では、宿題や課題がよく出されている。  
(中学 94.8% 高校 94.4%)
- ⑤この学校の学級懇談会の回数は適切である。  
(中学 94.0%)
- ⑥この学校では、生徒に関するプライバシーが守られている。

(中学 9 1. 6%)

⑦この学校は、健康管理について適切な指導と情報の提供があり、生徒が健全な学校生活を送れるように努めている。

(中学 9 0. 9%)

⑧この学校の行事の数は適切である。

(中学 9 2. 9%)

⑨学校行事は、子どもたちが楽しく参加できるように行われている。

(中学 9 4. 6%)

中学生徒の肯定評価が前年に比べて下がったことが少し気になりますが、高校生徒の評価は逆に少しですが上昇しております。特に、保護者からは、全体的に中学・高校とも高い評価を頂きました。

**(3)肯定評価が60%以下の項目については、その項目に対する基本的な考え方と改善策等を示しておきます。**

#### **\*生活指導**

〔中学生徒〕『この学校の生徒は、校則を守っている』⇒今年度初めて60%を切りました(59.6%)。この事実を深刻に受け止めて、生徒の心に響く、より懇切丁寧な指導を追求したいと考えております。

〔高校生徒〕『この学校は、遅刻する生徒が少ない』⇒21年度が48.7%、22年度が54.2%、23年度は57.4%、24年度は52.1%、そして25年度は55.7%でした。一般的に、遅刻は生活指導面のみならず、学習指導にもあまり良い影響を与えませんので、保護者と協力して、引き続き改善に努めるつもりです。ちなみに、中学は25年度は64.7%でした。24年度が81.8%でした。中学でも問題意識を持ち、改善を目指したいと思っております。

#### **\*行事・生徒会・部活動**

『この学校のクラブ活動は盛んである』(中学58.5% 高校41.2%)『この学校のクラブ活動の日数は適切である』(高校51.6%)⇒本校では、勉学とクラブ活動の両立ができるように「クラブ活動基準」を定めております。練習日は1週間に3日以内、練習時間にも制限があります。それに物足りなさを感じている生徒が結構いるようです。また、新校舎建築にともない、中学のグラウンドは狭くなり、体育館への移動に時間がかかることなども不満の要因になったのかも知れません。いずれにせよ、より多くの生徒達がクラブを楽しみながら勉学に励むことができるように、クラブ活動基準にそって指導を続けて行きたいと考えております。下の「中学・高校の部員数実績」を見ると、クラブ活動に参加している生徒の割合が相変わらず非常に高いことがわかります。中学では実に8割を超えています。

ちなみに、中学では「クラブの日数は適切である」が64.3%でした。

## 中学・高校の部員数実績

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
中学	運動部	313	322	325	374	372	368
	文化部	150	182	216	187	208	223
	小計	463	504	541	561	580	591
	所属率	66.4%	68.6%	70.4%	76.4%	82.6%	83.0%
高校	運動部	185	175	186	212	196	181
	文化部	86	103	107	140	138	152
	小計	271	278	293	352	334	333
	所属率	47.9%	49.1%	59.7%	65.4%	57.5%	62.0%
中高	合計	734	782	834	913	914	924
全体	所属率	58.1%	60.1%	66.2%	71.8%	71.2%	74.0%

### **\*あなた自身の振り返り**

〔中学・高校生徒〕『私は、学校の図書館や自習室をよく利用している』

(中学31.4% 高校50.4%)

⇒昨年度同様今年度も、中学には自習室はありません。よって、図書室の利用者のみの割合になっています。一方、高校では仮設校舎に自習室はありますが、定期考査前・期間を除けば高校1年2年の利用は少ないです。日常的にはやはり高校3年がよく利用しております。また、中学・高校とも教室を自習室として利用しているクラスがあり、それも自習室の低利用率に繋がっているのかも知れません。なお、高校の利用率は昨年度(45.9%)より若干上昇しております。

### **(4)『教職員による自己評価アンケートについて』**

肯定評価が60%以下のいくつかの項目について、基本的な考え方及びその改善策等についても示しておきます。尚、生徒・保護者アンケートと項目内容が重なるものについては、その一部を省かせていただきます。

〔学校運営〕『本校では、職員会議をはじめ各種会議(学年会議・分掌会議等)は、情報交換と課題検討の場として有効に機能している。』

⇒本校では、管理者と学年(現場)をつなぐ「校務委員会」や学校全体の進路方針を検討・確認する「進路部会」、そして生徒の学校生活を点検する「生活指導部会」等で決められたことが各学年に伝えられます。それぞれ学年の代表者(主任・副主任・センターなど)が出席し、会議で確認された提案事項等を各学年に伝達してもらいます。提案の内容がより性格に伝わるように、より密な意思疎通を図りながら、スムーズな学校運営を追求したいと考えています。

〔生活指導〕『本校では、問題行動の防止に向け、キャンペーンを張るなど早期指導を心がけている。』

⇒生活指導には「治療よりも予防」という観点が必要ですが、「予防」のための手だてが十分に打てていないようです。頭髪や服装など日常的なことであれば生活指導部でなくとも、全ての教員が指導するという基本スタイルを確立することが必要だと思われます。生活指導をテーマに教員の研修会実施を検討しています。

〔特別教育〕『本校では、生徒会活動が生徒の主体的活動として発展するように支援している。』

⇒本校の生徒会活動の範囲は限られています。文化祭を除いては、あまり活躍できる場面はありません。特に、昨年度の文化祭は中学しか実施しておりませんので、生徒会の関わる範囲はかなり縮小されていました。今年度も文化祭は中学のみですが、高校では昨年同様に文化祭に代わる行事を計画し、昨年度より内容・運営方法などをグレードアップすることによって、生徒会が関わる領域の拡大を図りたいと考えています。

『本校では、部活動の役割を重視し、より多くの生徒が参加できるように態勢を整えている』

⇒本校はクラブ活動も出来る進学校としてその態勢を整えています。アンケート結果から、生徒にもっとクラブ活動をさせてやりたいという教員の熱意は感じられますが、生徒のクラブ参加率の高さを考えると、今のスタイルが現在の本校に合っていると思います。

〔教職員研修〕

『本校では、必要な教育課題での校内研修を実施し、教職員の教育力向上に努めている。』

⇒学校の教育力向上のためには、教員の研修は非常に重要であると考えています。今年度も下記の研修会を実施しました。

1. 全員研修会（大手進学塾関係者による研修会・学校長による体罰に関する研修会を実施。）
2. 主任・センター研修会（各学年・部署の教育課題について方針検討・活動の点検と総括）
3. 学外研修会（様々な教育課題に関して学外研修、教科・受験指導に関する学外研修の奨励）

〔まとめ〕

学校評価の大きな目的の一つは、その結果に基づいて、教育活動と学校運営を改善し、教育水準の向上を図ることです。教員について言うと、教員が自分で自分の指導力を評価する機会は日常的にあまりありません。だから、自分の指導が生徒や保護者からどうい

捉え方をされているかを知ることは非常に意味があるのです。結果は励みになるものもありますし、逆に非常に厳しいものもあります。いずれにしても、結果をしっかりと受けとめることによって、指導力の向上を図ることができると思います。

また、保護者に学校方針がきちんと伝わっているか、生徒が安心して学校生活を送っているかなど、このアンケートを通して貴重な情報を得ることもできます。今回も、学校としての課題をいくつか確認することができました。それらの課題に取り組む中で、本校の教育活動と学校運営の改善を図っていきたいと考えています。今後ともこの学校評価の取り組みは続けて参りますので、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上